

1章 港南区プランについて

(1) 港南区プランの位置付けと役割

■都市計画マスタープラン港南区プランとは

- (1) 横浜市都市計画マスタープラン全体構想を前提として、港南区のまちづくりに関する方向性を整理するとともに、概ね20年後の港南区の将来像を描き、それを実現するための中長期的な方針を示します。
- (2) 港南区内の都市計画に関する情報を、わかりやすくまとめ、区民等に提供します。
- (3) 区民・事業者・行政が、まちづくりを円滑に進めるための“道しるべ”としての役割を担っています。

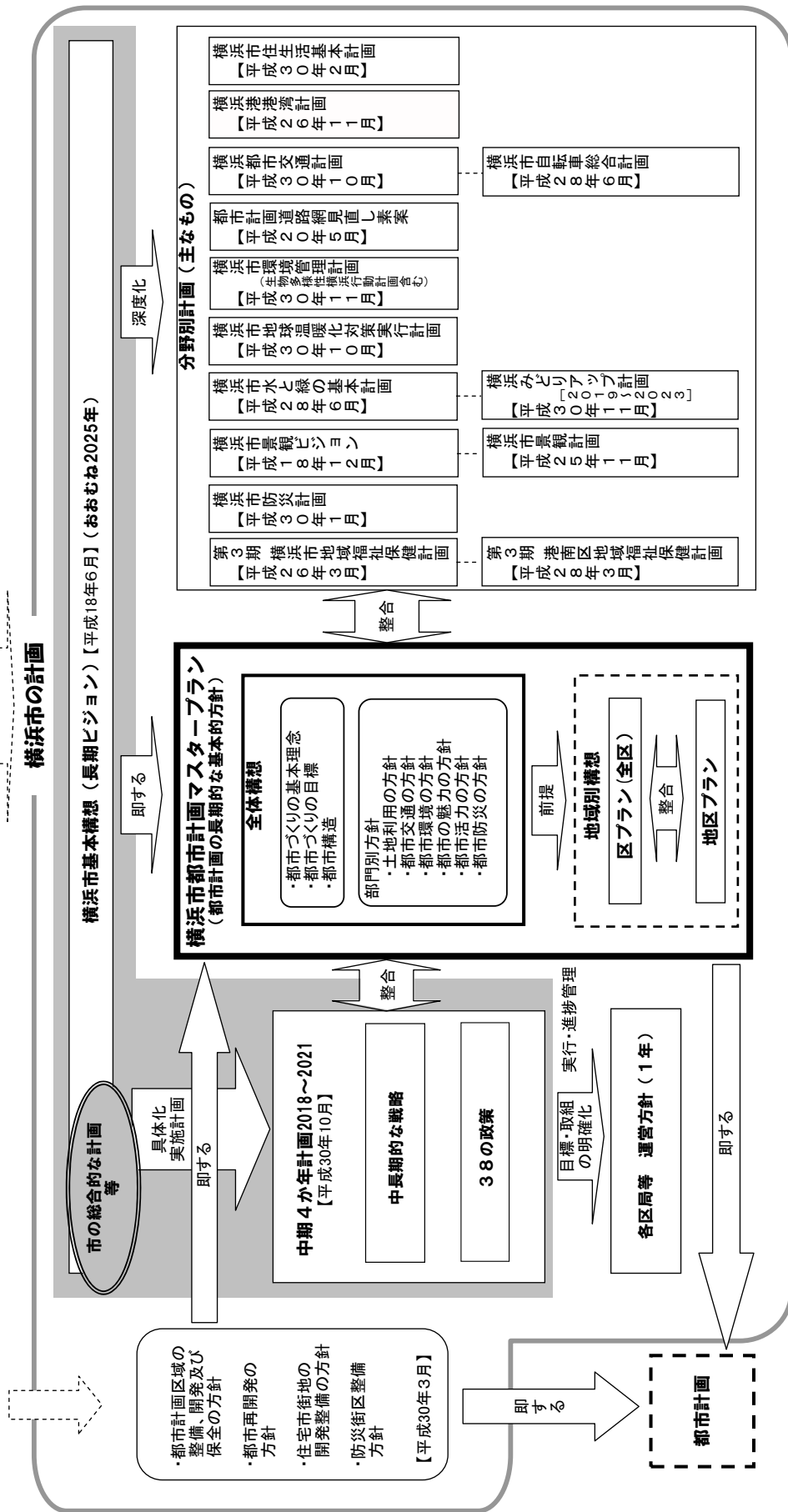
【参考】都市計画マスタープラン

都市計画マスタープランは、横浜市の都市計画に関する長期的な基本方針を示したものであり、都市計画法第18条の2に規定されている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として位置付けられています。

「都市計画」とは：都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用を規制・誘導することや道路や公園といった基盤施設など、まちづくりに必要な事項を定める計画

横浜市都市計画マスタープランと関連計画との関係

国土形成計画（全国計画【平成27年】・首都圏広域地方計画【平成28年】）



出典※「横浜市都市計画マスタープラン全体構想（平成25（2013）年3月）」
をもとに「港南区が作成（平成30（2018）年10月時点）」

(2) 改定にあたって

1) 改定の必要性

港南区プランの策定から10年以上が経過し、その間、2013（平成25）年3月には港南区プランの上位計画である横浜市都市計画マスタープラン全体構想が改定されたほか、都市防災の重要性や地球温暖化に向けた取組や社会状況の変化、区庁舎・地域ケアプラザ等の整備、再開発事業の進展等に対応するため港南区プランの改定が必要となってきています。

【横浜市都市計画マスタープランの主な改定ポイント】

- 超長期2050（平成62）年も見据えながら、2025（平成37）年を目標年次としている。
- 人口減少社会に対応できる集約型都市構造への転換とコンパクトな市街地形成
- エネルギー効率のよい低炭素型の都市づくり
- 災害に強い、安全安心のまちづくり

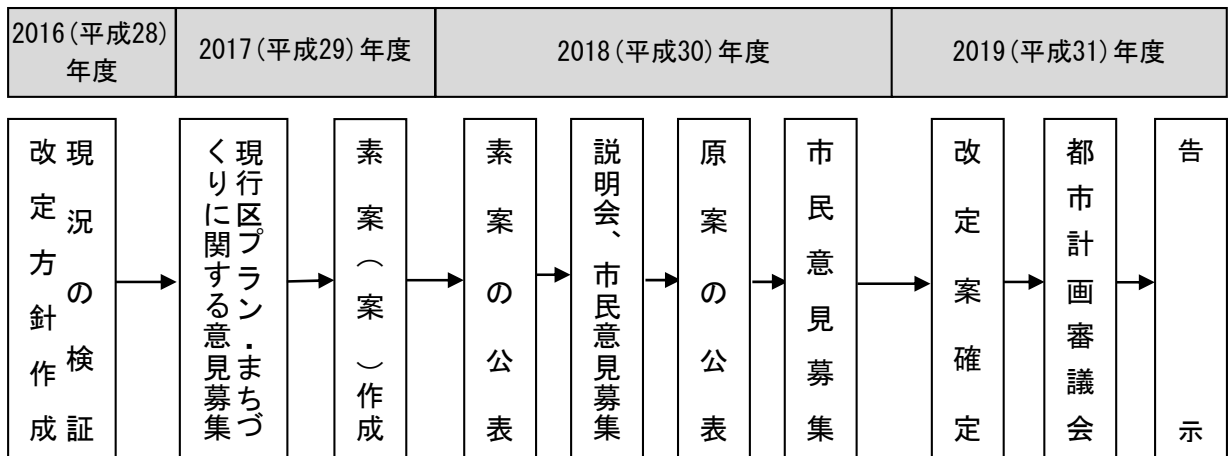
2) 港南区プランの改定の方向性

港南区は現行区プラン策定後、大規模な土地利用転換がないことや、区内人口の推移がこれまでも微減傾向を示していること、今後も継続すべき方針が多いことから、現行区プランを基本としながら、次の点を中心に見直しを行う予定です。

《ポイント》

- ◎改定内容については、全市プランの改定内容や関連する上位計画の内容との整合性を図ります。
- ◎まちづくりの進捗等を反映させます。具体的には、上大岡駅及び港南中央駅周辺における開発整備や、幹線道路の整備などの記述についての更新・拡充をします。
- ◎災害に強いまちづくりや低炭素、さらには脱炭素社会を目指したまちづくり等の新たな視点での項目を追加します。

(3) 改定の流れ



(4) 港南区プランの構成

